

学科の概要

～「教育の目的」、「教育の目標」、「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「学習成果」について～

巻頭で示した「建学の精神」に則り、本学においては社会の要請に応え得る人材を育成することを教育の目的としている。そして、豊かな人間性、グローバルな視野、高いコミュニケーション能力、高度な専門的知識を獲得することを教育の目標に掲げている。

本学の学生が卒業するまでにどのような能力を身につけることで短期大学士としての学位を授与できるかについては、各専攻においてその方針が明確にされている。そして必要とされる能力を身につけるための教育課程（カリキュラムと言う。後掲。）は専攻ごとに編成・実施される。また、その教育における学習成果についても言明されている。

このことについて、専攻ごとにその内容を具体的に示すので、よく読んで心に留めてほしい。

○学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）

本学は、「建学の精神」、「教育の目的・目標」を実現するために、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーとしてその方針を定め、教育活動を進めるとともに、恒常的な教育の質保証と改善に努めている。これらの方針の達成状況、教育効果並びに学生の学修成果に対する測定・評価指標は、機関（大学）、教育課程（学科・専攻）、科目の3つのレベルに対して、全学として以下のように定める。

評価主体／時期	入学前・入学直後 アドミッションポリシー を満たす人材かどうかの検証	在学中 (単位認定・進級判定) カリキュラムポリシーに 則って学修が進められて いるかどうかの検証	卒業時（卒業後） ディプロマポリシーを満 たす人材になったかどうか の検証
大学全体レベル	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 調査書等の記載内容 面接、志願理由書等 入学時満足度調査 	<ul style="list-style-type: none"> GPA 修得単位数 模擬試験 学修行動調査 授業アンケート 退学率 休学率 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時満足度調査 学位授与数 国家試験合格率 就職率 卒業率 卒業生アンケート
専攻レベル	<ul style="list-style-type: none"> 各種入学試験 入学前課題 面接、志願理由書等 入学時満足度調査 	<ul style="list-style-type: none"> GPA 修得単位数 模擬試験 授業アンケート 免許、資格取得数 離学率 休学率 	<ul style="list-style-type: none"> 学位授与数 国家試験合格率 免許、資格取得数 就職率 卒業率 就職先へのアンケート
科目レベル	<ul style="list-style-type: none"> 入学後実力試験 	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価 授業アンケート ポートフォリオ 	

○総合人間学科

■ こども教育専攻

I. 教育の目的

保育・教育の充実を求める社会のニーズに応え、未来の社会を支える尊い職業に携わる使命感、責任感、そして愛情を持った良質な保育者・教育者を育成する。

II. 教育の目標

1. 保育者としての使命感・倫理観を身につける。
2. 公平で偏りのないものの見方を身につける。
3. 周囲と連携を図るためのコミュニケーション能力の獲得。
4. 高度な専門的知識と状況に応じた的確な判断力の獲得。

III. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

1. 職業的使命感・倫理観を培う。
2. 公平・不偏なもの見方を身につける。
3. コミュニケーション能力を高める。
4. 保育・幼児教育に関する専門的知識と状況判断力を身につける。

IV. 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

1. 保育者としての使命感・倫理観を身につけている。
2. 公平で偏りのないもの見方を身につけている。
3. 人と連携を図るためのコミュニケーション能力を有している。
4. 高度な専門的知識を有し、状況に応じた的確な判断をすることができる。

V. 求める学生像（アドミッションポリシー）

1. 保育・教育に興味・関心があり、学ぶ意欲と向上心を持つ学生。
2. 地域や社会の一員として、貢献しようとする意識を持つ学生。
3. 良心に従い、温かい思いやりと心を持ち、他人との円滑な交流を好んでできる学生。
4. 目標に向けて努力する学生。

■ 看護学専攻

I. 教育の目的

豊かな人格と広範な視野をもって看護学の発展に寄与でき、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を持った看護師を育成する。

II. 教育の目標

1. 相手を思いやり、他者を尊重する豊かな感性を育てる。
2. 多様な価値観を認めるグローバルな視野と思考力を養成する。
3. 社会貢献に必要とされるコミュニケーション能力を獲得する。
4. 最新の看護技術に対応する高度な専門知識と論理的思考力を獲得する。

III. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

1. 人間性と奉仕の精神を高める。
2. 社会と他者に対するグローバルな視野を獲得する。
3. コミュニケーション能力とリーダーシップを高める。

4. 看護に関する高度な専門的知識と論理的思考を学ぶ。

IV. 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

1. 豊かな人間性と人間愛、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っている。
2. 多様な価値観と個性に対応するグローバルな視野と思考力を有している。
3. コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけている。
4. 確固とした基礎学力に基づいた専門的知識・技術と論理的思考力を持っている。

V. 求める学生像（アドミッションポリシー）

1. 人々の健康を支えるという側面から問題意識を持ち、看護の実践に取り組む高い志を持つ学生。
2. 相手を思いやり、周囲と協力していく姿勢を持つ学生。
3. 物事に対し、確かな考えや意見を持つ学生。
4. 柔軟な発想と論理的思考力の基礎となる学力を有する学生。

■ リハビリテーション学専攻

I. 教育の目的

リハビリテーションを必要とする人の側に立ち、対象者の人権・価値観を尊重しながら、機能回復に必要なリハビリテーションの知識・技術・態度を身につけたセラピストを育成する。

II. 教育の目標

1. 人間に対する深い愛情、思いやりの心を育てる。
2. 人に対する洞察力を養い、“気づく”ことのできる力を育てる。
3. 社会やチームの一員としての協調性とコミュニケーション能力を育てる。
4. リハビリテーションの専門家として高度な知識と技術を身につける。

III. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

1. 人間に対する理解を深め、他者への思いやりを涵養する。
2. 周囲や環境に対する鋭い洞察力と広い視野を獲得する。
3. 周囲の人間と協力しあうことができる能力と姿勢を養う。
4. リハビリテーションに関する高度な知識、技術と態度を修得する。

IV. 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

1. 人間に対する深い思いやりを持っている。
2. 周囲や環境に対して鋭い洞察力と広い視野を持っている。
3. チームの一員としての協調性、連帯意識を持っている。
4. 専門的で高度な知識・技術を修得している。

V. 求める学生像（アドミッションポリシー）

1. セラピストの仕事に魅力を感じる学生。
2. 人を思いやり、相手の立場に立って物事を考えることのできる学生。
3. 人とのコミュニケーションが好きで、仲間と協力し合うことのできる学生。
4. 自己を律することができ、根気よく努力できる学生。

○専攻科（助産学専攻・地域看護学専攻・リハビリテーション学専攻）

■ 助産学専攻

助産師によるリプロダクティブヘルスケアは、女性の生涯を通じて家族及び地域社会におけるニーズに応え、助産活動を実践する領域である。助産学に関する基礎的な知識、技術、態度を修得し、主体的に学習する能力や態度及び研究的な態度を養い、保健、医療、福祉に貢献できる助産師をめざす。

■ 地域看護学専攻

地域保健活動には様々な対象者が存在し、看護で培った人間力を基盤に、その対象者の立場に立った考え方ができるように、さらに人間力を磨きながら対象者が主体的に取り組めるような知識、技術、態度についての修得をめざす。

■ リハビリテーション学専攻 言語聴覚学課程

言語聴覚士の資格取得をめざす。臨床に根ざした対象者本位のセラピスト養成を心掛ける。後期は長期の臨床実習に出るため、短期間で専門的な知識と技術を身につけなければならない。自己学習能力の向上とそのサポート体制を基盤に課題指向型パターンの実践力を身につけさせる。

■ リハビリテーション学専攻 理学療法学課程

理学療法学に関する専門領域を脳血管疾患、呼吸器・循環器疾患、運動器疾患の4大疾患に分化、系統立てたカリキュラムを編成。症例理解、療法に関する学識を実践的に学ぶことによって、リハビリテーションの現場で症例に応じた確かな対応を取ることができる高度な臨床スキルと臨床研究の視点を備えた理学療法士の育成をめざす。

■ リハビリテーション学専攻 作業療法学課程

作業療法学に関する専門領域を発達過程、精神機能、身体機能、高齢期の4領域に分化、系統立てたカリキュラムを編成。症例理解、療法に関する学識を実践的に学ぶことによって、リハビリテーションの現場で症例に応じた確かな対応を取ることができる高度な臨床スキルと臨床研究の視点を備えた作業療法士の育成をめざす。